

# 神戸だより

台湾交流支援の会 2018.03発行 Vol. 5

<神戸の今 : 神戸に春が来ました！> 武藤 龍雄

神戸市東灘区にある「本山梅林公園」の梅が満開となり、連日多くの観梅客が訪れています。梅は2月末頃に開花し始め、3月なかば頃まで咲き続けることから、春の訪れを感じさせる花とされています。岡本の梅は、昔から、「梅は岡本 桜は吉野 みかん紀の国 栗丹波」と唄われるくらいに有名でした。当時は山全体に梅が植えられており、満開の頃には、ふもとのJR摂津本山駅に急行列車を臨時停車させ観梅客が駅から山までぞろぞろ登って行ったといわれています。

そのたくさんの梅は、1938年の阪神大水害による山崩れや、第2次世界大戦時の戦災、戦後の宅地開発などでほぼ消滅しましたが、その後、復興の機運が盛り上がり、1982年に現在の形の公園に整備され、梅の数も増やし、現在、紅梅、白梅、枝垂梅など39品種190本ほどが育てられています。こじんまりとした公園ですが、歩きやすいようによく

整備されており、展望台からは神戸の街並みから神戸港まで見渡せます。尚、公園の入場は無料です。



<いかなご> 福本 節子

<これは、何の魚のオブジェでしょう>

ヒント1・・・神戸に春の訪れを知らせてくれる魚です。

ヒント2・・・成長するにつれて名前が変わります。

ヒント3・・・2月末の解禁日を過ぎると神戸垂水の町は、この魚をたく香ばしい匂いでいっぱいになります。

